

# 第4回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 議事概要

日時 平成30年6月19日(火) 14:00~15:30

場所 飯田市役所 C棟3階

出席者 別紙のとおり



## 1 開会

## 2 委員長あいさつ

【委員長：静岡文化芸術大学 池上副学長】

- ・今年度1回目、通算で第4回目となる新ビジョンの策定委員会が飯田市で開催することができ、うれしく思う。
- ・前回は重点プロジェクトについてご議論いただいた。この間事務局が各主体の取組を調査し、さらに重点プロジェクトをふくらめたものが提示される。皆様のご意見をいただきたい。

[事務局からの確認]

本日の委員会は報道公開し、議事要旨についても公開するので、了承いただきたい。

## 3 議事（議事進行：委員長）

(1) 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定方針の変更(案)について（事務局から説明）

【豊橋市：広田部長】

計画期間が13年間というのは違和感がある。2030年で区切りがよいから、という理由であったが、今後、和暦の年号が変わる。新元号の10年で区切るのはいかがでしょうか。

【事務局】

2040年に65歳以上の人口がピークを迎え、2050年に日本の人口が1億人を切ることが予想されており、2030年を区切りにすることは意味があると考え、計画期間を13年間とした。ご意見を踏まえ再検討する。

(2) 新ビジョンの重点プロジェクト（案）について（事務局から説明）

○重点プロジェクト全体について

【愛知大学：戸田教授】

現在、具体的事業には主体がはっきりしているもののみが記載されている。確実性はあるが、可能性が狭まるという反面もある。具体的事業は新ビジョン開始後も追加されることがあってもよいということにして、「一次事業」というような表現がよい。

また新ビジョンの本体となる部分はもう少し記述を加えた方がよいと思っているので、検討してもらいたい。

【事務局】

検討する。

【豊橋市：広田部長】

地域連携の方針には、基本方針、推進方針、主要施策とあるが、それらと重点プロジェクト

との関係が分かりづらい。特に、主要施策と重点プロジェクトが関連していないように見えるが、どのように考えているか。

**【事務局】**

重点プロジェクトは、地域連携の方針の各方針の間にある事業も取り込みたいと考え、このような構成としている。主要施策と重点プロジェクトの関連性についてはもう一度見直す。

○(1)三遠南信交通ネットワーク形成プロジェクト

**【豊橋商工会議所：小林専務理事】**

三遠南信自動車道の開通後の効果について調査が行われているが、その結果をもって要望活動を行い、さらに道路整備を加速させたいと考えているので、その旨を新ビジョンの中で取り込んでほしい。

**【浜松商工会議所：湯口理事・総務企画部長】**

三遠南信自動車道の開通による、三遠南信地域外への効果についても調査ができるとよい。

**【事務局】**

今年度佐久間 IC～水窪 IC の環境アセスメントが終了し、来年度からの整備着手に向けて強く要望をしたいと考えている。

**【豊橋市：広田部長】**

全体を見ると、「Vリニア中央新幹線開通後の東海道新幹線の利用促進」だけ具体的事業が記載されていない。これは今後記載に向けて検討していくという事でよいのか。

**【事務局】**

今後記載できるように考えていきたい。

○(2)三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト

**【委員長】**

「Ⅱ三遠南信スポーツ交流事業の実施」は、具体的にどのような取組を想定しているか。

**【事務局】**

多くの町村で行われているマラソン大会において三遠南信地域の特産品等を景品とするなどのプロモーションを検討している。またプロスポーツチームと連携した取組も地域への愛着を醸成する取組として有用だと考えている。

○(3)地域の稼ぐ力強化プロジェクト

**【豊橋商工会議所：小林専務理事】**

今後の地方創生においては、既存の産業がいかに「稼ぐエンジン」となり得るかが重要である。そのためには異分野との取引、技術連携、共同化が必要であり、それは事業承継の問題解決にもつながる。そのための仕掛けとして、各商工会議所、商工会、信用金庫で現在実施している事業が三遠南信地域全体に関わる大切な取組みであるとの意識醸成を図り、三遠南信地域全体の産業力強化が図られるよう企業マッチング支援、マッチング事業内容(規模・エリア)の充実を促進したい。それにつながる具体的な事業の記載が必要である。

**【飯田商工会議所：福澤専務理事】**

今後産業構造がさらに変化していくことが予想され、経済界での連携強化が必要だと考えている。新たな事業についても検討していきたい。

**【事務局】**

現在掲載している事業は、「2地域以上にまたがって連携しているもの」または「特徴的なもの」について構成員への照会等で収集したものである。他にもそのような取組があれば改めてご提案いただきたい。

○(4)三遠南信探訪プロジェクト

**【地域づくりサポートネット：山内代表】**

「I道の駅、サービスエリア・パーキングエリア（SA・PA）を活用した地域の観光情報の発信」とあるが、事業としての進捗状況はどのようになっているか。

**【事務局】**

道の駅は4か所ほどヒアリングを実施したのみで、それ以上の進捗はない。他の事業も同様であるが、事業によって熟度に差があること、実施主体がSENAとなっているものはSENA以外の主体とも連携して実施していくことをご承知いただきたい。

**【飯田商工会議所：福澤専務理事】**

「IV鉄道を活用した周遊ルートの開発」として、飯田線活性化期成同盟会の事業が掲載されているが、もう少し内容を加えた方がよい。

**【豊橋商工会議所：小林専務理事】**

2027年のリニア中央新幹線開業後、リニアとは対照的なスローライフを楽しむ路線として、また首都圏からのリニア中央新幹線・飯田線・東海道新幹線による周遊トライアングルの一角として、飯田線の利用推進を図るプログラムづくりが有効と考える。

先行して南信州地域で活動している「JR飯田線活性化期成同盟会」と東三河、遠州地域が連携して、観光資源として魅力ある飯田線を活用した商品開発を行うことが重要である。

**【浜松商工会議所：湯口理事・総務企画部長】**

新ビジョンの本体に「飯田線」という単語が出ていないが、もう少し強く打ち出してはどうか。

**【地域づくりサポートネット：山内代表】**

「ローカル鉄道」という単語であれば、高速鉄道と違いが明確になってよいのではないか。

**【事務局】**

検討する。

**【地域づくりサポートネット：山内代表】**

「Vサイクルツーリズムの推進」の説明として「国道を活用し」とあるが、国道だけでなく県道や鉄道も活用が必要だと考えているため、記述を修正してほしい。また、「日本海へつながるサイクルツーリズムの推進」という記述にしてもらいたい。

**【事務局】**

検討する。

**【地域づくりサポートネット：山内代表】**

国全体でインバウンド需要を取り込むための施策が強く打ち出されている。新ビジョンの中でももう少し表現できないか。

**【事務局】**

インバウンド需要を取り込む視点は新ビジョンでも表現をしている。また、国内の観光客の需要を取り込むことも重要だと考えている。

○(5) 中山間地域が輝くプロジェクト

意見なし

○(6) 住むなら三遠南信プロジェクト

**【飯田市：今村部長】**

地域連携の方針の「人」の「推進方針2」に「主要施策②多文化共生の基盤づくり」とあるが、具体的事業の中にはそのような事業は掲載されていない。これは、現段階でこれにあてはまる事業が照会等で挙がっていない、ということであろうか。

**【事務局】**

そのとおりである。

**【委員長】**

国は、5年間の技能実習を終えた外国人がその後も日本国内での就労を可能となる新たな在留資格を設ける方針である。日本で過ごし、在留資格で20代～30代を日本の地方都市で過ごすことになるが、その方たちの活力を職場だけで発揮することはもったいないと思っている。外国人はこの地域の資産ともなるので、新ビジョンで取り込むことが出来ればよい。

○(7) 人生100年時代プロジェクト

**【豊橋技術科学大学：大貝副学長】**

人づくり革命や未来投資戦略、骨太の方針などの国の施策が打ち出されているが、教育分野で「社会人のリカレント教育」にも大学として力を入れていきたいと考えている。新ビジョンにも取り込んでほしい。

**【委員長】**

本日あった意見は個別に修正を加えていくとして、概ねの方向性としては承認ということで

よいか。

→意見無し

(3) 新ビジョンの推進体制（案）について

意見なし

(4) 新ビジョンの推進スケジュール（案）について

【豊橋市：広田部長】

計画期間と関連するが、13年間を5年、5年、3年と分けるのは違和感がある。計画期間を12年間として4年3期で分けるのがよい。

【愛知大学：戸田教授】

このビジョンは1つの組織が責任を持つものではなく、また事業は确实性のあるもののみが記載をされており、定期的に新たな事業を模索する機会があった方がこのビジョンの構成に適していると感じている。現行ビジョンでは評価・見直しのスパンは3年であった。新ビジョンでも12年間を3年4期で区切るスケジュールでもよいと思う。

【事務局】

計画期間と併せて再検討する。

#### 4 その他

【豊橋技術科学大学：大貝副学長】

このビジョンは、三遠南信地域連携について外にアピールするものとしての役割があると考えている。プロモーションビデオを作成するなど、プロモーションに力を入れるのがよい。

また、社会情勢や国の動き等が新ビジョンに取り込まれていないように感じているので、その視点が盛り込まれるとよい。

【東海農政局：柘沢課長】

農山漁村地域にインバウンド需要を取り込むための農泊に関する交付金事業を実施しているので紹介する。外国人観光客を受け入れるための体制構築や観光メニューづくり、古民家を活用した宿泊施設の整備などを支援するものである。参考にしていきたい。

【事務局】

開催地の飯田市から、「世界人形劇フェスティバル」のチラシを配付している。

#### 5 閉会

第4回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 出席者名簿

分類	団体	役職	氏名	備考
委員長	静岡文化芸術大学	副学長	池上 重弘	
委員	豊橋技術科学大学	副学長	大貝 彰	
委員	愛知大学	教授	戸田 敏行	
委員	浜松市	企画調整部長	内藤 伸二郎	
副委員長	豊橋市	企画部長	広田 哲明	
委員	田原市	企画部長	石川 恵史	
委員	飯田市	総合政策部長	今村 和男	
委員	泰阜村	総務課長兼会計管理者	松下 隆直	
委員	静岡県	総合政策課 主査	竹馬 徹	代理
委員	愛知県	東三河総局企画調整部長	矢野 浩二	
委員	長野県	総合政策課 企画幹	保科 千丈	代理
委員	浜松商工会議所	理事・総務企画部長	湯口 哲世	代理
委員	豊橋商工会議所	専務理事	小林 和夫	
副委員長	飯田商工会議所	専務理事	福澤 栄二	
委員	長野県商工会連合会南信支所	支所長	清水 衆一	
委員	地域づくりサポートネット	代表	山内 秀彦	
委員	三遠南信住民ネットワーク協議会	世話人	平川 雄一	
委員	みらい企画 律	代表	矢澤 律子	

分類	団体	役職	氏名	備考
オブザーバー	豊橋信用金庫	事業支援部副部長	宮川 直樹	代理
オブザーバー	飯田信用金庫	地域サポート部長	大蔵 雅彦	
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局	広域計画課長補佐	吉田 光宏	代理
オブザーバー	国土交通省中部運輸局	交通政策部計画調整官	中村 尚久	
オブザーバー	経済産業省中部経済産業局	地域経済課地域振興室長	末吉 敏弘	
オブザーバー	農林水産省関東農政局	企画調整室室長補佐	中村 浩一郎	
オブザーバー	農林水産省東海農政局	農村振興部農村計画課長	栢沢 一成	